

# Veratrum album バイケイソウ(梅恵草) [激しい悪寒, 植物界の砒素]

Veratrum album L.

## BACK GROUND

Veratrum albumは、ヨーロッパ、アジア北部、北アフリカ原産で、山岳地帯や湿った牧草地、森林地帯に自生するユリ科シュロソウ属の大型多年草です。



高さは1～1.5mになります。茎は直立していて、管状で中は空洞になっています。葉は大きくて、長さ10～30cm、幅10～20cmくらいの楕円形で、先端部は尖っています。葉の表面は無毛ですが、裏面は脈状に毛状突起が多く生えています。

白緑色の花が白梅に似ていて、葉がケイランに似ていることから日本では梅恵草と呼ばれています。一般的には、White hellebore, false helleboreなどと呼ばれています。

初夏に開花する綺麗な花を含め、全草に猛毒があり、古代ローマでは武器の先端に塗りつけていました。ヒポクラテスが、若いアテナイ人のでんかんを、この植物で治療した記録が残されています。ブルガリアの民間療法では、過労からくる神経性の消耗や高血圧などに利用されていました。しかし、一般的には毒性が強すぎて、ハーブとしての使い道は少なく、動物用の殺虫剤として少量が使われていました。近年ではその血圧降下作用が注目されたことがありますが、強い毒性から使われることはありませんでした。

Veratrum albumには、ペラトリンに代表される各種アルカロイドが含まれています。また、鎮静作用や徐脈作用のあるジャーバイン、もっとも毒性の強いプロトペラトリンがあります。マザーティンクチャーには、血圧降下作用や筋肉賦活作用のあるジェルメインが含まれていることがわかっています。

この植物を摂取すると、交感神経系に作用し、各内臓の痙攣を起こし、激しい嘔吐と下痢を引き起こして、

極度の悪寒と衰弱状態になります。顔面は青白くなり、額に冷汗が出ます。この嘔吐と下痢、腹痛の様子から「植物の砒素」とも呼ばれています。過度の発汗を起こします。悪寒は体中が氷のようになり、頭痛がして頭が氷づけになったような感覚になります。

## MATERIAL

開花期前（6月初旬）の根と根茎

## FIRST PROVING

Veratrum albumは、ハーネマンが1826年から1830年にかけてブルーピングしました（『Materia Medica Pura』第3巻）。その後、19世紀のコレラ流行時に使われて好結果をもたらし、ハーネマンの評判が広まるきっかけになったレメディの1つです。

## AFFINITY

Veratrum albumは、主に神経系（腹部、心臓、血管系）、頭頂部、血液、呼吸器系、消化器系に親和性をもっています。

## CLINICAL APPLICATIONS

このレメディは、主に胃腸疾患と精神疾患に考慮されます。とくに若齢と高齢のケースに使用されます。

### ■消化器系

- ・**激しい嘔吐と下痢**、**胃腸炎**：激しい嘔吐と下痢が同時に起こります。少しでも水を飲んだり、動くとも悪化します。寒気を感じます。胃や腹部が冷たく感じます。
- ・**パルボウイルス感染症（犬）**
- ・ひどい食中毒
- ・**消化不良**
- ・酸っぱい物、レモン、塩、氷を欲しがります。
- ・大腸炎：多量の水様便で、体力を消耗します。
- ・吐出：噴射するような嘔吐をします。
- ・便秘：とくに乳幼児や高齢者。寒い気候で便秘になることがあります。腸の蠕動運動が少なく、大量に便が溜まり、肛門に近い部分が大きくなっています。肛門に熱感を感じたり、痛みを伴わずに凝血塊が出てくることがあります。

### ■衰弱

### ■問題行動

- ・多動症、注意欠陥多動性障害

- ・意味のない反復行動：たとえば、物を切り続け細かくしたり、破き続けたりといった行動を取ります。
- ・早熟で態度が横柄：若齢のうちから家出をすることがあります。

#### ■神経系

- ・頭痛、片頭痛：しばしば嘔吐を併発しています。寒気も感じます。
- ・めまい：嘔吐を伴い、冷や汗をかきます。
- ・月経困難症：激しい平滑筋の痙攣があります。寒気を伴います。嘔吐や下痢を伴います。月経前に性欲が強く亢進することがあります。
- ・子宮内膜症
- ・特発性のテタニー
- ・一時的な精神錯乱状態、急性/慢性精神病
- ・手足の冷え性
- ・レイノー病
- ・化学物質過敏症

#### MODALITY

☞ 暖める、横に休むなど

☜ 冷たい湿った気候、気候の変化、飲物を飲んだ後、動くこと、触られること、排便中、夜、月経前と月経中、発汗など

#### RELATIONS

- ・ Antidoted by : Strong coffee, Camphora, Aconite (心配性、体の冷えと脳の焼ける感覚からくる動揺), Chin (Verat 乱用による慢性異常), Staphysagria (多くの例)
- ・ Antidote to : Arsenicum album, Chin, Cuprum metallicum, Opium, Tabacum (Opium, Tabacum の悪影響を取り除く)
- ・ Complementary : Carbo veg
- ・ Follows well : Arsenicum album, Arnica, Chininum, Cuprum metallicum, Ipecacuanha, Camphora, Amc., Carbo vegetabilis, Bovista, Lycopodium, Nux vomica
- ・ Followed well by : Pulsatilla, Aconite, Belladonna, Chamomilla, Rhus toxicodendron, Sepia, Sulphur

#### ●同属のレメディ

Veratrum nigrum : Veratrum nigrum L.の葉と茎が原料です。主に頭痛や耳鳴りで考慮されます。

Veratrum viride : Veratrum viride Ait.の根茎が原料です。MINDがVeratrum albumと似ています。肺炎の初期で、頻脈のときに使用されます。

## Verbascum thapsus ビロウドモウズイカ(天鷲絨毛蕊花) [顔の痛み]

Verbascum thapsus L.

#### BACKGROUND

Verbascum thapsus は、ヨーロッパ原産のゴマノハグサ科バーバスクム(モウズイカ)属の2年草です。

バーバスクム(モウズイカ)属は、約300種類が知られていて、その大部分は、地中海沿岸を中心に、ヨーロッパ、西アジア、中央アジアに分布しています。300種類のうち、薬草として知られているのが、ビロウドモウズイカ(マーレイン Mullein)です。

日本には、明治初期に渡来しています。こぼれ種でもよく増えることから、全国各地に野生化しており、とくに東北から北海道にかけて多く分布しています。日当たりがよく、乾燥して砂砂利の多い丘陵地、海岸などに生育しています。

ビロウドモウズイカは、ヨーロッパからシベリアに分布しています。高さは1~2mになり、葉と茎は、



(A)

銀白色の細かい柔繊毛でびっしりと覆われています。

学名の Verbascum は、ラテン語の barbasicum 毛の生えた植物という意味です。英語の一般名である